

## 第11回ミナミ活性化協議会代表者会議結果

### 1 日時

平成28年2月14日（日）午後2時30分から

### 2 場所

クロスホテル大阪 3階 Sole

### 3 出席者（敬称略）

役 職	氏 名
大阪府副知事	竹内 廣行
大阪市長	吉村 洋文
大阪府警察本部長	樋口 真人
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡本 敏嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福長 徳治
大阪商工会議所副会頭	小嶋 淳司
一般社団法人関西経済同友会幹事	山本 雅弘

### 4 意見交換

#### ○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長

この「ミナミ活性化協議会」は、昨年、発足から10年を迎えました。そして、その節目の年が、まさに「道頓堀開削400周年」等の大阪としてのシンボルイヤーと重なり、「大阪ミナミ400年祭」をはじめ、官民一体となった様々な取組が、インバウンド効果と相まって非常に大きな盛り上がりを見せました。地元としては、関係行政機関、経済界に対して本当に感謝申し上げる次第です。この勢いをとめることなく、引き続き、活性化に向けた取組を進めていただきたいと思います。

当協議会としても、10年という節目を迎えましたが、まだまだ道半ばの状態であり、客引きや放置自転車問題等、継続して取り組むべきものや、増加する外国人観光客への対応等、10年を経て新たに増えてきた課題もあります。これまで以上に構成団体、賛同団体の皆様との連携を強化し、ミナミの活性化のために前進したいと考えています。

これまで当代表者会議で交わされた意見については、対策の大小はありますが、多くが現実味を帯びて実行に移され、ミナミ地区だけではなく、大阪、全国にも波及するようなものもあります。2009年から始まった御堂筋のイルミネーションについては、ついに、全長4キロにも及び梅田からなんばまでつながり、昨年にはギネスの認定も受けるということになりました。そして、活性化の阻害要因となっていた客引き問題については、長年の議論の末、一昨年に「客引き行為等適正化条例」が施行され、この成功事例を基に本条例と同様の条例が、全国的にも進められていると聞いています。ミナミ活性化協議会の代表者会議とは言え、本会議はそれだけ多くの注目を集め、その結果がミナミを起点として発信されるという非常に意義のあるものであると思います。その重みを踏まえた上で、地元として発言をさせていただきたいと思います。

まず、客引き問題については、一昨年に「客引き行為等適正化条例」が施行され、特に過剰な営業行為に及んでいた居酒屋の客引きについては、大きく減少していると感じています。

昨年の代表者会議では、指導員の増員を要望させていただき、その結果、当初の5人体制から昨年4月には最終的に20人の体制に増員させていただきました。客引き行為等適正化指導員も、単なる巡回ではなく、巡回時間の変更、私服運用、特定の悪質店を集中的に包囲したりするとともに、市担当者による行為者の在席する大学や家庭への訪問など、相手を見ながら試行錯誤し、戦略的に対応しているため、その効果がよく現れていると思います。このように集中的な対策を講じ、大阪市としての本気度を示してくれたお陰で、全国的にも同様の条例が次々と施行されようとしており、大阪市では他都市からの視察、勉強会にも多数対応していると伺っています。

また、大阪府警察においても、本条例の「施行1年」等の節目節目に、大規模な一斉取締りが行われるなど、お互いに情報を共有し、連携を密にしているものと感じ取れます。そして、これまで以上に警察による客引きや違法風俗店の摘発等の成果も上がっていると伺っています。

しかし、一定数の減少はあったものの、ここからが正念場であり、新聞やテレビ等で取り上げられているとおり、イタチゴッコの状態も否めません。居酒屋系の客引きから、いわゆる「フリーキャッチ」に鞍替えする者が増えて、その形態、活動の実態がより悪質化してきているというのが現状です。

そこで、大阪市と大阪府警察との連動した対応や取締りを、手を緩めることなくお願いしたいと切に願います。

地元としても、大阪府警察の助言を受けながら、違法風俗店や迷惑な客引きを行うような店舗をテナントとして入居させないための、ビルの健全化に向けた部会等の設置を進めているところであり、長年続けてきた啓発パトロールに加えて、昨年の本会議で共有された共同アピールの「根源的な浄化」に向けて取り組んでいきたいと思います。

次に、「自転車駐車場附置義務条例」の地域特性を踏まえた見直しについてお話しします。

昨年の本会議の場において、現状の「自転車駐車場附置義務条例」が、今のミナミ地区の実情に合っていないとして、少し厳しい意見を述べさせていただくとともに、新耐震基準に沿ってビルの建て替えが進むこの時期に、経済発展の足かせとならないよう、緩和措置等の早急な改正を求めました。そして、当時の橋下前市長からも一定の理解が得られました。

その結果、本協議会の中に、大阪商工会議所を事務局としたワーキング会議が設置され、そこで議論を重ね、大阪市建設局としても知恵を絞っていただき、駐輪場の設置可能範囲の拡大や、商店街等をひとつのモールと見立てた共同駐輪場の制度化等、ミナミ地区の特性に配慮した条例改正案を作成し、現在は、パブリック・コメントも終え、市会に上程されるまでに進めていただきました。また、今回の条例改正で終わりではなく、引き続き「超繁華街」という地区の実情を踏まえて、条例のあり方についてさらに検討すると聞いていますので、大変ありがたく思っています。一方で、放置自転車対策については、建設局と意見交換をしながら、我々、特に、ミナミ地区で営業を営む者においても、来訪者や事業者に対する啓発等のできる限りの協力をしていきたいと考えています。

そして、本協議会の本来の目的である「ミナミの活性化」についてお話しします。

一昨年、大阪を訪れた外国人観光客は、大阪観光局の発表によると約376万人で、前年よりも約113万人増加したことで、大きな驚きを見せましたが、去年はそれをさらに上回り約716万人に達し、前年から倍増し、大阪の観光戦略の目標であった「2020年 来阪外国人旅行者数650万人」を早くも達成しています。そして、その多くは、大阪の最大の歓楽街であるミナミを訪れています。昨年の流行語大賞となった「爆買い」等により、急激な経済効果も現れてはいますが、何より個性のあるエリアが連担したミナミの持つ回遊性が最大の観光資源となっているからだと思えます。これからは「ポスト爆買い」に向けて、本来のミナミらしい情緒やおもてなしの、確かな商いを発信していくべきで、それでこそ、国際観光都市の名を担うにふさわしい街になっていくものと考えています。今こそがミナミだけでなく大阪の活性化のための

絶好の機会であり、まさにこの機会を逃すことなく、集中的にハード・ソフトの両面で、インバウンドを受け入れるためのインフラの整備が必要であると考えています。

そのひとつに、「なんば駅前広場化」があります。なんば駅前は、関西国際空港から降り立った外国人観光客が、まず最初に訪れる大阪の玄関口です。大阪だけでなく、京都、奈良、神戸に向かう方々にとっても玄関口となります。その中で、現在のなんば駅前の状況は、自動車中心の空間となっており、さらに極端なことを言いますと、喫煙者のためのスペース、ティッシュ配りのためのスペースになってしまっています。

国際都市のメインストリートとして整備が進むであろう大阪の大動脈「御堂筋」の起点であるにもかかわらず、大阪のシンボルにはほど遠い状態で、非常にもったいないと感じています。世界的な風潮としては、シンボルとなる名所や拠点は、歩行者を優先とした都市空間整備がなされて、人々の活気が溢れているものです。

現在、大阪商工会議所が事務局となり、地元協議会と行政が参画した検討会「なんば駅前広場空間利用検討会」が設置され、そこで具体的な検討が進められており、実現に向けて動き出しているとは思いますが、様々な調整が必要となることから、官民一体となった強い推進力がないと整備計画が長期化されてしまうおそれがあります。我々としては、「ポスト400年」の重要な事業と位置付けていますので、観光客から注目されているこのチャンスを逃さず、スピード感を持続して、大阪全体の活性化のために、地元、行政、事業者や財界をはじめ、関係者が協力し、実現をお願いしたいと思います。

ミナミを訪れる観光客は当然ながらキタにも訪れます。要は、大阪全体の活性化、経済発展につながるに違いありません。訪れる観光客に、「安全で安心して遊べたな。」「おいしいものを食べたな。」、そして「また来たいな。」と思ってもらうためには、前段でお話しした、客引きや迷惑駐輪等の「活性化のマイナス要因の除去」だけではなく、本来は、前進するための対策が重要であると考えています。

「なんば駅前広場」が世界に誇れる玄関口として生まれ変わり、世界最大級の歩行者ネットワーク繁華街であるミナミを活かすシンボリックな拠点となるよう、関係各位のご協力をお願いしたいと切に願っています。

最後になりますが、昨年、橋下前市長から「これまで行政がミナミに注いできた力が少ないと感じた。」「しっかりとやっていきたい。」という発言があり、非常に心強く感じました。活性化方策として「なんば駅前の広場化」を1つにあげましたが、そのほかにも、必要と思われるものは、まだまだたくさんあると考えています。行政としても、様々なインフラ整備の推進をよろしく願いたいと思います。

また一方、多くの人々が訪れる超広域型繁華街のミナミでは、安全・安心の確保も大きな観光インフラのひとつだと思います。そういう観点からも、なお一層、地元としては環境浄化活動をしっかりと行いますが、特に安全・安心については、大阪府警察の取締りやご指導がなければ実現できるものではありません。この点について、何卒よろしく願いたいと思います。

我々地元としても最大限の努力をしていきますので、重要なこの時期に「国際観光都市 大阪」を確立するため、行政、警察、経済界、そして賛同団体の皆様が連携し、力を集中していただき、「みんなでつくりよう ええまちミナミ」の実現を図っていきたくと考えています。どうぞ、オール大阪体制でのご支援をよろしく願います。

## ○ 大阪府副知事

まず、「ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会」の岡本会長、福長発起人をはじめ、地域の皆様には、日頃から、ミナミの環境浄化、ミナミの活性化にご尽力いただいていますことを心より感謝申し

上げます。

今日の会議前に、ミナミの街を歩いて来ました。先日の休みの日も歩いたのですが、春節で訪れている中国人観光客の方々をはじめ、本当に多くの外国人観光客がミナミを訪れており、戎橋の上は、人で溢れかえっていました。自撮棒を使ってカメラ撮影している方や、たこ焼きや串カツを食べている方、あるいは黒門市場でウニを食べている方など、たくさんの外国の方が来られている、本当に、楽しい街、にぎやかな街という印象を受けました。

昨年の関西国際空港のLCCは非常に好調で、岡本会長からお話がありましたとおり、推計で、昨年大阪への外国旅行者は716万人でした。これは、2020年に目標としていた650万人を既に突破しており、例えば「1000万人」といった新たな次の目標を設定しなければいけない状況にまできています。さらに、事例をあげますと、南海電車の空港線の利用客が、昨年と比べて2、3割増しになっているということです。鉄道の利用客が、このように増加するのは、他の路線ではおそらくないことだと思います。もちろん観光バスの利用もあると思いますが、それぐらい、南海電車に乗ってなんばに来られる観光客が多いということです。

そして、大阪に来られる方の約7割がミナミに来られているとも言われています。まさにミナミの活性化の大きな要因が、外国からの観光客であると認識しているところです。そういう意味で、外国人観光客をはじめ、国内外から大阪のミナミに来ていただいた方々に、「大阪へ来てよかった。」「大阪、ミナミは楽しい『ええ街』やな。」「また来よう。」と言っていただくためには、街の魅力と安全を高めていくことが非常に大事です。もちろん、すでに取り組んでいただいております。「おいしい食」、「ショッピング」、この魅力を高めていることで、ミナミは魅力のある街になってきています。そして、これが更なる観光集客を呼んでいるものだと思います。

「街の安全」については、南警察署をはじめ、大阪府警察の努力、そして中央区の積極的な防犯への取組、それからなによりも、地域の皆様の精力的な防犯パトロール、官民一体となった客引き対策等、まさに地域ぐるみのこの防犯の取組、本当に心より敬意を表したいと思います。

ミナミ活性化協議会は、活動を始めて10年になります。この10年間の皆様のご尽力で、ミナミは安全・安心で、賑わい、そして笑顔の溢れる街になってきたと感じています。そして次の10年に向けて、ミナミ活性化協議会を通じ、大阪府としても皆様と一緒に手を携えて、しっかりと取り組んでいきたいと思っておりますので、これからも引き続きのご支援、ご協力の程、よろしくお願いたします。

## ○ 大阪市長

平素は大阪市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。また、ミナミ活性化協議会においては岡本会長、福長発起人を中心に、このミナミの活性化、そして安全で安心なまちづくりにご尽力いただき感謝いたしております。

私は、大阪では、「観光」が基幹産業になってくるものと思っています。そして、「観光」を基幹産業として位置付けることで、様々な地場産業やその他の事業、地域経済の活性化に影響してくるものと思っています。まさに、この「観光」というものは、ひとつの事業というよりも、「基幹産業に位置付ける」ということが必要だと考えています。

大阪には24時間稼働している関西国際空港があり、近くには京都、奈良といった文化遺産もあります。これは、大阪、そして関西でしかないものですから、1日や2日で作れるものではありません。この歴史と伝統があって、そして何よりも大阪の中心地として、このミナミやキタというエリアもあります。立地、地の利を考えても、関西は、「観光」を基幹産業として大きく発展する街だと思っています。私は、そのしっかりとした基礎作りをしていきたいと思っています。

もちろん、この「観光」というものは、為替リスクであったり、カントリーリスク等様々な要因が絡んできますが、上下変動しながらも、私は、確実に伸びていく産業であり、間違いなく

街の活性化につながると思っています。

私が市会議員であった頃のことですが、5年くらい前に、当時、「2020年 650万人のインバウンドを誘致する。」を目標として掲げていました。当時は「そんな数字は絶対に無理だ。」と言われました。「これはIRを前提としている数字ですか。」と言われたぐらいのものでしたが、今、そのIRをなくして、2020年を待たずに、700万人を突破するというようなインバウンドの状況になっています。国内からも多くの方が、それにつられて大阪を訪れているという状況だと思っています。

私は、夢洲にIRというものを位置付けたいと思っています。この位置付けが決まれば、大阪の観光産業の基軸になる可能性のある産業だと思っています。

先日、中国の総領事との面談の中で、総領事から「中国人観光客が非常に増えている。」「その中で日本のマナーやルールを守っていかなくてはいけない。」「総領事としてしっかり発信していきたい。」旨の発言がありました。一方で、「安全で安心なまちづくりを進めて欲しい」との要望も受けました。市長に就任してからこれまでに、アメリカ、オーストラリア、イタリアの総領事と面談しましたが、まさに「観光」については、どの国も大阪に非常に注目をしています。その中で私は、「安全で安心できるまちづくり」が、大事であると思っています。これは、中国の総領事自身が言っていることですので、現実的な話だと思っています。

特に、この点においては、「客引き行為等適正化条例」の運用が当てはまると思います。

私自身、この条例については強い思い入れがあります。本会議にも参加されていますが、中央区の坂上大阪府議会議員から当時、ミナミの安全・安心のためにも、観光客を迎えるためにも、「客引き適正化条例を作りたい。」「条例が絶対に必要だ。」と強いオーダーを受けました。当時は、私も北区選出の市会議員でしたので、同じように課題を認識していました。そこで、客引きの適正化のためのプロジェクトチームを作って、そして条例案を作ろうということになりました。そして当時の橋下前市長に強く働き掛けて、平成26年6月にこの条例が制定されたという経緯があります。

本条例については、作り上げていく上でも、そして運用していく上でも、地元の皆様、大阪府警察、大阪府と大阪市が一体となって、これまで取組を進めてくることができたと思っています。それによって一定の効果が出ていると思っはいますが、今後はさらに広げていかなければいけないと考えており、指導員自身もかなりのノウハウを蓄積してきましたので、これまで5人一組4班体制で進めてきたところを、3人一組6班体制に再編成して、さらに広範囲な巡回指導活動ができるようにします。このほかにも、違反となる客引きを行っている業者に対しては、大阪市役所に召致して直接指導したり、行為者に対しては、家庭や通っている大学に訪問したりしているところであり、より効果的な対策をこれからも市をあげて進めていきたいと思っています。そのためには、これからも地域の皆様、大阪府警察とも連携を図っていきたいと思っています。悪徳業者による風評被害というものは一挙に広がりますので、これらをなくし、「安全・安心」を確保することで、ミナミの街は、本当の大阪の中心地として、さらに活性化していただろうと思っています。

次に、自転車駐車場附置義務条例についてですが、これについては、ミナミという地元の特性に応じていないのではないかというご意見やご要望も受けました。確かに、ミナミは間口が狭い敷地も多いですし、自転車で来られるお客様の動きの特性として、自転車を停めて周遊した後に、また違うところに行くというものがあったり、一律にこの条例を適用するのはいかなものかという思いはあります。そういった中で、駐輪場の設置義務の範囲を50メートルから、概ね250メートルに広げたり、あるいは共同駐輪場の仕組を活用したりして、違法駐輪をできるだけ少なくするという要請と経済を活性化させていきたいという要請のバランスを考えていきたいと思っています。私は、経済の活性化は大事だと思っていますので、条例があるが故に、容積率

を少なめに考えて建物を作らないといけないといった、様々な経済活動に支障が生じるのは、基本的には本末転倒だと考えています。経済を活性化させて、そしてそこにどうしても弊害があるのであれば、それにどのように対応していくのかということが、行政の役割だと思っています。まずは経済活動が阻害されることのないように進めていきたいと思っています。本条例案については、次の議会に上程し、議会の皆様の賛同が得られれば、4月からの施行に向けて動いていきたいと思っています。そして、不自由な点があれば、皆様の意見をさらにお聞きしたいと思いますが、まずは今年4月の施行に向けて努力していきたいと思っています。

そして、南海なんば駅前の現在の状況についてですが、本当にもったいないと思います。やはり、関西国際空港で降り立った観光客の皆様が、一番最初に来るところであり、結節点になると思います。しかし、現在は「車の溜まり場」になっている訳です。あそこを「人の溜まり場」にしたいと思っています。それなりの面積もあるので、なんば駅前が、人が集えるような場として整備されれば、本当にミナミの中心的なシンボリックな場所になると思います。観光を基幹産業として位置付けるという意味では、国内外からの多くの観光客の皆様に喜んでもらえるような整備が必要だと思っています。そのためには、地元の皆様としっかりタッグを組んでいかないとはいけませんし、大阪府警察とも協議をしていかななくてはなりません。地元の皆様、大阪府警察、そして大阪府と大阪市が一体となって、玄関口であるなんば駅前一等地に変えていきたいと思っています。

また、御堂筋のイルミネーションは一昨年にはなんばまで、去年は梅田まで延長され、ついに梅田からなんばまでがつながり、冬の風物詩になりつつあります。そして去年は御堂筋でF1カーの走行も行いましたが、そういったイベントについては、本当に地元の皆様のご協力をいただいていると実感しています。賛否両論がある中だったと思いますが、地元の皆様の理解も得ながら、このようなことを行っていくことで、大阪のPRにもなると 생각합니다。ミナミとキタは大阪の中心地だということもPRするため、是非、地元の皆様とタッグを組んでいきたいと思っています。

最後に、私は、様々な経済活動を伸ばしていきたいと思っています。その中で、ミナミは観光においても経済においても中心拠点になるといったポテンシャルのある街だと思っていますので、安全で安心できるまちづくりなど、行政としてできるまちづくりを地元の皆様、大阪府、大阪府警察と一体になりながら進めていきたいと思っています。これからもよろしくお願いします。

## ○ 大阪府警察本部長

皆様には、常日頃から警察活動の各般に亘り、ご支援、ご協力を賜っておりますことにつきまして、心から厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

私は実は、大阪生まれ大阪育ちです。だいたい警察本部長というのは、生まれ育った地元に着任しないのですが、大学に入るまでは大阪で生まれ育っております。

このミナミには父親が商売人だったので、昼だけでなく夜もよく連れてきてもらって歩いておりました。年末には黒門市場でフグを買うのが家のしきたりになっておりました。そういう意味では大変思い出深い、いろんな思い出がこもったまちであります。とりあえずそれを紹介しておきたいと思っています。

それでは、昨年の大阪府警察の主な取組についてご説明いたします。

ミナミ地区で特に問題となっております客引きにつきましては、警察による取締り、大阪市による行政指導、なによりも地元の方々による積極的な客引き排除活動により、大きな成果が見られていると考えております。しかしながら、夜遅くになると客引きが出没しておりますので、警察では、客引き行為者の取締りとあわせて、客引きの巢窟となっている違法風俗店の取締りを強く推進していかなければならないと思って頑張っております。

昨年中、南警察署による強力な取締りと、本部と関係各署からも捜査員を投入した計画的な一斉取締りを行い、ミナミ地区だけでも、173人を検挙しております。これは、前年に比べて約4割も多い検挙となっております。また、一昨年に引き続き、昨年6月にも、大阪市からの情報を端緒に、150人を超える大量の捜査員を投入して、ミナミ地区で最大の客引き勢力であった悪質なガールズバーグループの系列店4店舗を一斉摘発し、経営者等合計11人を検挙しました。その他にも、客引きでお客さんを集めて高額な飲み代を請求していた外国人ラウンジを摘発するなど、客引き根絶に向けた諸対策を推進しております。

次に、違法風俗店を根付かせないという取組について申し上げます。

これまで、違法風俗店を摘発して廃業させても、その後、同形態の違法店が入居するといったイタチごっこの状態が続いておりました。特に、性風俗店については、店舗を摘発しても店内の構造をそのままの状態で貸し出していることから、再入居を容易にしておりました。

そこで、警察では、性風俗店などを摘発した後、店内の設備を解体・撤去する、骨格に近い形、元に戻すという意味で「スケルトン化」と言っていますけれども、この「スケルトン化」を促進するなど、再び違法風俗店が容易に入居できないための対策を進めております。また、これら取組と平行して、地元の皆様に、商店街等が主体となったビルの健全化に向けた取組の推進をお願いしております。大変ご理解をいただきまして、客引きを行う店舗や違法風俗店等を入居させないなどの自主規制を設けた新たな部会が設立された商店街もあり、浄化活動が着実に進められていることに関し、警察としても心強く感じております。今後もさらに活動を活発化して、ミナミ地区全体に広めていただければと思います。

次に、今後の取組方針についてお話させていただきます。

警察では、引き続き、歓楽街の実情に応じた客引きの取締りを行う一方、根を絶つ、元を絶つ取組として、客引きの巣窟となる店舗の摘発を推進することにしております。客引きに関しては、取締りを行っても、しばらくすれば新たな客引きグループが出現することから、今後も大阪市と情報交換を緊密に行い効果的な取締りを行うなど、粘り強く取り組んで参ります。また、違法風俗店を根付かせないために、摘発店舗のスケルトン化のほか、法と証拠に基づいてではありますが、悪質なビルオーナーや仲介者を共犯者として検挙するなど、そういったことにも引き続き取り組むこととしております。そして、まちづくりの観点からも、これら取締りにより生じた「空き店舗」への優良店誘致に向けた取組が、今後の対策の要になるのではないかと考えております。

続いて、暴力団対策についてお話いたします。

既にご承知のとおり、六代目山口組が分裂して、5ヶ月が経過しました。ミナミ地区は暴力団勢力が集結している地域であり、抗争事件の未然防止に向け、暴力団事務所等に対する視察・警戒活動を強化しております。また、小さな不法行為事案等が発生しても、あらゆる法令を適用して事件化を速やかに図り、暴力団員等を徹底して検挙していきます。

先ほど市長から風評被害という話がありましたけれど、私は前任は福岡県で、テロ集団と、北九州に本拠地を有する暴力団と対決をしておりました。当時は北九州だけでなく福岡県全体が暴力団の風評被害に遭っておりました。地域間競争が激しい中で、住民たちの出入り、あるいは観光振興、企業誘致という点でもそういった暴力団のテロ行為というべきものがあれば風評被害が発生しますので、そういったことが起こらないように頑張っていきたいと思っております。

その他、ミナミ地区の治安情勢であります。昨年の刑法犯認知件数は、ピーク時であった平成13年から約4割も減っております。これは、警察の努力だけではありません。

しかしながら、ひったくりや路上強盗のほか、スリや酒に酔って寝込んでしまった方を狙う泥棒等といった歓楽街特有の犯罪も多く、街頭活動を強化し、抑止・検挙に努めていきたいと考えております。

警察では、取締りなど、警察にしかできないことに特にしっかりと取り組んで参りますので、

皆様方におかれましても、健全なまちづくりに一層取り組んでいただきますようお願いいたします。

## ○ 大阪商工会議所副会頭

大阪商工会議所としましても、ミナミ活性化協議会の皆様と一緒に前進しているということをお伝えしたいと思います。

まず、ミナミの環境浄化については、10年間という長い活動により、本当に変わってきたものと感じています。この成果に対する皆様方のご努力、関係行政機関のご支援、大阪府警察の取組に心から敬意を表し、感謝申し上げる次第です。

大阪商工会議所としましても、「千客万来都市OSAKAプラン」を掲げ、経済の活性化、人の交流を含めて様々な方面から、とにかく大阪にたくさんの観光客が来ていただけるよう、観光インバウンドの促進プロジェクトを推進し、空港の活性化などにもいろいろな形で関わり、取り組んできました。

ミナミという街は、世界の人々が懐かしさを感じる街ではなかろうかと思います。そして、どうしてミナミがそのようになったかと考えてみますと、やはり自然発生的に地元の皆様の「自分たちの街」というしっかりとした意識の中で成立した街だからであると思います。だから「食」、「ショッピング」、「文化」、「芸能」が隣接し、同じ地域で様々なことを楽しめる街になっているのだと思います。

経済の活性化、街の環境浄化、あるいは街が成り立ってきた中での隘路をどのように解決していくかということをご発言いただきましたが、私は文化、芸能というものをしっかりと進めてもらいたいと思っています。行政も我々市民もそれを支えていくことが大切になってきていると思います。

当初、日本食はおいしくて、健康に良くて、そして美容にも良いということで、このような食が日本にあるということで、ヨーロッパなどでは驚きとともに、関心が寄せられました。しかし、最近では、さらに一步踏み込んで、その食文化を生んだ日本の文化はどのようなものなのかといった質問を、海外の方々から受けるようになり、食の世界においても、文化として捉える時代になったということではないかと思います。ミナミは、そういった文化的要素を持った街であり、副知事、大阪市長としては、この文化を根深く掘り下げて、そして新たに作り上げていただきたいと思っています。

そして、先ほどもご意見がありましたように、賑わい作りという面では、なんば駅前の広場化も大変大きなミナミの情報発信ができるものだと思います。また、私自身、関西国際空港との関係者、あるいはミナミだけでなく堺や岸和田といった南海沿線の市長等とお話をしていると、「関空～大阪」間で是非とも連携していきたいという意識を持っておられるようです。このつながりを全体に広げて、なんば駅前を継続的なインバウンド効果をもたらす大阪の歓迎口とすべく、広場化事業を進めていく必要があると思います。

日本を訪れた観光客が関西各地に広がり、特に和歌山ではインバウンド効果が飛躍的に伸びたと伺っています。これは、大阪で宿泊する施設がないために和歌山にまで出向いて宿泊することが多くなっているからであると思いますが、なんば駅前の広場化と併せて、こういった問題への対応も進めていただきたいと思っています。

このように大阪が玄関口となることによって、インバウンド効果が関西全域に広がっており、これが日本全域に広がることを願っています。そのためには、街の整備に向けたなんば駅前の広場化の認識を共有し、地元の皆様と一体となって進めていただきたいと思っています。

そして、自転車の駐輪場の附置義務につきましては、条例の基準が緩和されるということではありますが、この問題は条例で一律に基準を設けるような性質のものではないと認識しています。



なお一層、商店街の関係者の皆様の意向を踏まえて、きめ細やかに話し合いをしながら、そしてご意見を汲み上げて、更なる改善に向けて継続した検討をお願いします。

また、「安全・安心」は何よりのブランドですので、大阪府警察におかれましては、引き続きご尽力をお願いします。

#### ○ 一般社団法人関西経済同友会幹事

先ほど、大阪府警察本部長から「大阪生まれの大阪育ち」とのご発言がありましたが、私も同じで、生粋の大阪市民です。

先に、各構成団体の皆様から極めて具体的なご発言がございましたが、本協議会は発足から11年目を迎え、この間のミナミの皆様への地元愛、その上に立った行動力、そして様々な効果を生んで来られたということについて、最大限の敬意を表したいと思います。そして、大阪府、大阪市、大阪府警察をはじめ、関係組織の地道なご努力についても、改めて感謝申し上げたいと思います。

さて、このミナミの道頓堀にまつわるお話をさせていただきます。この道頓堀は、江戸時代には「道頓堀五座」と言われた芝居、芸能の街でありました。また、あまりご存じないかもしれませんが、明治時代には、日本で初めてシェークスピア劇が上演された街でもあります。つまり道頓堀は、正真正銘の「文化の街」であると思います。もちろん、道頓堀に限らず視点を広げますと、大阪にはこの他にも、文楽、上方、落語や歌舞伎そういった様々な文化があります。こうした多様な文化こそが、観光振興のベースだと思います。

こうした多様な文化、これこそが、観光振興のベースだと思います。この文化の振興を目指し、次代の担い手を育成していくことを目的として、関西経済同友会の提言がきっかけとなり、2014年4月に「アーツサポート関西」という組織が設立されました。この組織は、市民の皆様や企業からいただいた寄付金により運営し、多様な分野の芸術活動、伝統芸能といったものへの助成を行うという、日本初かもしれませんが、極めて珍しい「市民による市民のための助成団体」です。

関西経済同友会としても、こうした活動を通じて、関西の文化、大阪の文化を振興し、そして、この文化の一大集積地であるミナミにも、文化の大きな花が咲き誇るように、引き続き努力して取り組んでいきたいと思っています。

最後になりますが、2020年に東京オリンピックが開催されます。オリンピックは、一般的には「スポーツの祭典」と見られていますが、実は「文化の祭典」でもあります。ロンドンオリンピック、リオオリンピック、こういったオリンピックと同じように、2020年に向けて、東京のみならず日本全国で文化のプログラムが開催されていきます。そこで、大阪には優れた文化装置が多数あります。例えば、大阪城を会場に芸術・文化のイベントを開催すれば、全国、そして海外から多くの観光客が訪れることが期待されます。私どもは文化と経済は都市繁栄の車の両輪だと考えております。

地元の皆様のご努力で磨かれ輝いているこのミナミの街に、多くの観光客が訪れ、街の活気が更に豊かさを増していくことを期待し、関西経済同友会としましても、皆様方と一緒に、進んでいきたいと思っています。

#### ○ ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人

10年前、できるかできないかは分かりませんでしたが、日本一、世界一、安全で安心して利用できる「人気のある大阪」にしたいと言いました。そして本当に、奇跡的に、環境が浄化され、まさにモデル地区になるのではないかと感じているところです。

大阪市長から発言がありましたが、20名の客引き行為等適正化指導員の運用については本当

に地元として助かっています。この効果は絶大なものです。そこで現状の20名を30名にしたい。大阪市長としても、予算上は難しいかもしれませんが、是非お願いします。

#### 5 共同アピールの採択

意見交換後、出席者全員一致で「第11回ミナミ活性化協議会代表者会議共同アピール」を採択した。

#### 6 啓発イベント、パレード

荒天のため、中止した。

## 第11回 ミナミ活性化協議会代表者会議 共同アピール

われわれ、ミナミ活性化協議会は、平成17年の設立から、ミナミの風俗環境の浄化と環境美化を推進するとともに、健全で魅力あふれるまちづくりを進めるため、地元・行政・経済界が一体となり、オール大阪体制で、ミナミの再生に向けた取組を推進してきた。

これまで10年間の取組は、風俗環境の改善、新しいルール策定によるまちづくり、犯罪の減少による治安の向上等、実感できる成果としてあらわれ、ミナミのまちは、着実に変化を遂げている。

そこで、さらなる安全で安心な魅力あふれるまちへと発展を遂げるため、「みんなでつくろう ええ街ミナミ」を合言葉に、次の2点の目標を掲げて、より一層取組を推進することとした。

### 一、 『安全安心で、快適なまちの実現に向けて』

官民一体となった客引き対策、街頭における犯罪抑止対策、放置自転車対策を推進するとともに、ビルの健全化に向けた対策を継続するなど、根源的なまちの浄化に向けた取組を行い、安全安心かつ快適に楽しめるまちづくりを推進する。

### 一、 『魅力とにぎわいのあふれるまちの実現に向けて』

シンボルイヤー2015の取組が生んだ、魅力とにぎわいをそのままに、食や文化を楽しむ風情が息づく、楽しさを実感できるまちへの歩みを進めるとともに、ミナミの新たなシンボルとなる拠点づくりとして、なんば駅前の再整備に向けた取組を進めるなど、「ええ街ミナミ」の実現に向けたまちづくりを推進する。

平成28年2月14日

### 【ミナミ活性化協議会】

大阪府知事	松 井 一 郎
大阪市長	吉 村 洋 文
大阪府警察本部長	樋 口 眞 人
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会会長	岡 本 敏 嗣
ミナミ歓楽街環境浄化推進協議会発起人	福 長 徳 治
大阪商工会議所会頭	尾 崎 裕
一般社団法人関西経済同友会代表幹事	村 尾 和 俊

～賛同団体～

ミナミまち育てネットワーク  
公益社団法人関西経済連合会  
公益財団法人大阪観光局